

平成28年度新規事業の一覧表

番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費(第3回)
1	秘書広報課	報道機関への情報提供	報道機関へ適切に情報提供を行い、市内外に我孫子市をアピールする。28年度は、記者会見用バックボードを新たに購入する。	・記者会見用バックボードの購入	200千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	180千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	180千円
2	秘書広報課	ホームページの管理・充実	市民の生活に密着したさまざまな情報をホームページで積極的に発信する。28年度は、4言語への翻訳機能を整備する。	・4言語(英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語)翻訳機能の整備 ・視覚障害者用PDF読み上げ機能の整備	702千円	A 事業の必要性は高い。 視覚障害者用PDF読み上げ機能の整備のみ採択 4言語翻訳機能の整備は次期実施計画で検討	A 同左	98千円	A 同左	98千円
3	秘書広報課	若者定住化に向けての情報発信力の強化	若い世代の定住化を促進するため、市の魅力を市内外に積極的かつ効果的に発信する。	・テレビでのPR ・手賀沼花火大会のインターネット中継 ・CM制作、PRポスター作成 ・都内FMラジオとの共同事業・AMラジオ番組制作、放送 ・マスコットキャラクターぬいぐるみ作成 ・CM放映等広告 ・特産品購入 ・ガイドマップ改訂版作成 ・備品購入 他	26,177千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	17,800千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	17,800千円
4	文書情報管理課	情報公開事務	情報公開条例を適正に適用し、市民が必要とする市政情報を公開することにより、市民の知る権利を確保するとともに、市民と市の情報共有を図る。28年度は、職員への対応能力の向上のため、情報公開・個人情報保護に関する解説情報データベース「コンシェルジュデスク」を利用ようになる。	・コンシェルジュデスク(情報公開・個人情報保護)に関する解説情報データベース)利用料	78千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	78千円	A 同左	78千円
5	文書情報管理課	電算システムの運用	サービス水準の維持・向上や安定稼働を図りながら電算システムの運用を行う。28年度は、コンピューターや関連機器等の安定稼働のために設置している2台の空調設備のうち、老朽化している1台を更新する。	・空調設備の更新工事設計、工事、工事監理 ・空調設備保守業務委託(7か月) ・公会計への対応	11,831千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	10,683千円	A 事業の必要性は高い 公会計への対応は、詳細が判明次第補正で対応	10,683千円
6	文書情報管理課	社会保障・税番号制度の導入	28年1月のマイナンバーの利用開始に伴い、システムの安定稼働を図る。28年度は、情報セキュリティ対策の強化を図る。	・情報セキュリティ対策の強化	額未定	A 事業の必要性は高い 国から詳細が示され、内容が決まり次第、補正で対応	A 同左	0千円	A 同左	0千円
7	施設管理課	庁舎維持管理	庁舎内施設の維持補修や保守点検管理など庁舎全般の維持管理を行う。来庁者が庁舎を安全かつ快適に利用できるよう、本庁舎にエレベーターを設置するとともに、本庁舎1階をLED照明に交換する。	・本庁舎エレベーター設置工事設計 ・本庁舎1階LED照明リース(6か月)	5,126千円	A 事業の必要性は高い LEDのみ採択。本庁舎エレベーター設置は次期実施計画で検討	A 同左	1,039千円	A 同左	987千円
8	企画課	常磐線の利便性向上	市民が快適に通勤や通学、移動ができるよう、JR常磐線の輸送力強化と利便性向上を図る。28年度は、我孫子駅の開駅120周年にあたるため、記念イベントの開催やグッズの作成などを行う。	・開駅120周年記念クリアファイルの作成 ・記念ポスター・横断幕の作成 ・記念オリジナルテープの作成	495千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	495千円	A 同左	495千円
9	企画課	手賀沼・手賀川活用推進協議会	柏市、印西市、我孫子市などで構成する「手賀沼・手賀川活用推進協議会」において、手賀沼・手賀川やその周辺の豊かな水と緑などを活用した施策の検討を行い、協議が調ったものから事業化する。	・協議会負担金 ・社会実験の実施に向けた検討	500千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	500千円	A 同左	500千円
10	企画課	公共施設等総合管理計画の策定と推進	公共施設等について、老朽化や人口減少等の予測を踏まえながら、公共施設等総合管理計画を策定する。28年度は講師を招いて講習会を開催する。	・公共施設等総合管理計画の策定 ・施設カルテの作成 ・消耗品の購入 ・研修会講師報償費 ・固定資産台帳の整備 ・個別施設計画作成のフォロー	139千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	90千円	A 同左	90千円
11	企画課	我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理	27年度に策定した我孫子市版総合戦略に基づき、主な事務事業の事後評価や、施策ごとの重要業績評価指標(KPI)の評価・検証などを行う。	・有識者会議開催に伴う委員報償費	35千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	35千円	A 同左	35千円
12	企画課	新たな国際化推進基本方針の策定	外国人も暮らしやすいまちの実現に向け、29年度を開始年度とする新たな国際化推進基本方針を策定する。	・策定会議開催に伴う委員報償費	252千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	252千円	A 同左	252千円

編成 番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費(第3回)
13	企画課	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた調整	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、事前キャンプ地の誘致をはじめとした外国人の受け入れ環境の整備を行う。28年度は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック大会の期間に合わせて、オリンピックに向けた啓発パネルを展示する。	・庁内検討委員会の開催 ・パネル作成	71千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 展示内容が決まり次第、補正で対応	0千円	A 同左	0千円
14	市民課	戸籍簿の維持管理	戸籍、住基初任者職員の窓口実務の正しい理解と市民へのより分かりやすい説明が可能となることから、戸籍受付支援システム(タブレット端末)を導入する。	・戸籍受付支援システム(タブレット端末)購入	238千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円
15	市民課	布佐行政サービスセンター本下水道接続及び浄化槽撤去工事	浄化槽の老朽化に対応するため、布佐行政サービスセンターの下水管を公共下水道本管へ接続し、浄化槽の撤去を行う。	・浄化槽撤去工事JR費負担金	額未定	A 事業の必要性は高い JRとの協議が整い次第補正で対応	A 同左	額未定	A 同左	額未定
16	市民課	個人番号カードの交付	個人番号カードの交付事務に必要な環境を整備する。	・カード券面印字システム ・臨時職員(雇用保険、賃金) ・券面印字システム保守点検委託	3,496千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,496千円	A 同左	3,496千円
17	市民課	住居表示の再付番の実施(本町)	我孫子駅前土地区画整理事業に伴い、本町地区の町界が不明確であるため、再住居表示を実施する。	・本町再住居表示(基礎調査)委託	2,857千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,570千円	A 同左	2,570千円
18	市民課	旅券事務所の開設と運営	県から旅券事務の権限移譲を受けたことにより、一般旅券の申請受付と交付を我孫子行政サービスセンターで行う。	・実務研修 ・消耗品(収入印紙等) ・案内表示板 ・証紙類販売機リース ・番号券機リース ・防犯カメラ移設工事 ・備品購入(耐火金庫、カウンター等)	4,787千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 旅券事務は委託して実施 防犯カメラ移設工事、備品購入は公共施設整備基金を活用して実施	4,787千円	A 同左	4,578千円
19	市民課	湖北台行政サービスセンター窓ガラス防犯修繕	湖北台行政サービスセンターの老朽化対策と防犯の観点から、窓ガラスに防犯フィルムを貼り、個人情報保護と機械設備等の防犯対策の充実を図る。	・窓ガラス防犯フィルム	695千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	600千円	A 同左	600千円
20	市民課	旧湖北行政サービスセンター解体工事	湖北行政サービスセンターの移転に伴い、今後の跡地利用を図るため、旧センターを解体する。	・解体工事設計委託料 ・解体工事費	15,955千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
21	市民活動支援課	市民プラザの施設運営	利用者がより快適に利用できるよう、指定管理者により市民プラザの維持管理を行う。28年度は、コンピュータールームの返還に伴い、原状回復工事を行う。	・改修工事負担金	3,240千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,240千円	A 同左	3,240千円
22	市民活動支援課	市民・近隣センター等施設維持管理	近隣センターなどのコミュニティ施設の利用者が快適に利用できるよう、施設の維持管理や修繕を行うとともに、省エネルギー型照明や防犯カメラを順次導入する。	・布佐南近セ外装修繕 ・近セふさの風駐車場舗装修繕 ・近セこもれび雨漏り修繕 ・根戸近セLED交換修繕(ホール) ・湖北台近セLED交換修繕(ロビー) ・防犯カメラ購入、設置工事(天王台北、根戸、新木) ・新木近セ高圧ケーブル更新工事	15,042千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 近セこもれび雨漏り修繕、根戸近セLED、新木近セ高圧ケーブル更新工事のみ採択。防犯カメラは2台のみ採択	5,909千円	A 同左	5,637千円
23	市民安全課	自主防災組織の育成	結成した自主防災組織に対し、防災資機材を交付する。	・備品購入(自主防災組織交付資機材3組織×30万)	900千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	900千円	A 同左	900千円
24	市民安全課	地域防災計画の修正	災害時の被害を軽減させるため、我孫子市地域防災計画に基づき、「我孫子市地震ハザードマップ」を作成する。	・我孫子市地震ハザードマップ作成業務委託	4,428千円	AB 事業の必要性は高いが、国の交付金を活用して29年度以降に実施	AB 0	0千円	AB 同左	0千円
25	市民安全課	管理不全な空き家対策	防犯・防災の観点から、適正に管理されていない空き家等の実態調査を実施する。	・空家等実態調査業務委託 ・空家等対策推進協議会委員報償費	9,100千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	7,280千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	7,280千円

編 号	課 名	事 業 名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月24日現在)とその理由		事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由		事業費(第3回)
26	社会福祉課	生活保護費給付事務	生活に困窮する方に対して生活保護費を支給する。28年度は、市・県民税賦課業務に利用する生活扶助費受給者データを抽出するため、システムの改修を行う。	・生活保護システムの改修	277千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	277千円	A	同左	277千円
27	社会福祉課	生活困窮者の自立支援	子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止するため、小・中学生の基礎学力の向上をめざした学習支援を行う。	・学習支援員報償費	1,200千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,200千円	A	同左	1,200千円
28	健康づくり支援課	産後ケアの実施(少子化対策検討プロジェクト)	心身のケアや休養を要する産婦を産後ケアセンターや医療機関に宿泊させ、母体ケアや乳児ケアなどを実施する。	・産後ケアの実施(委託) ・決定通知書の送付	3,912千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	3,912千円	A	同左	3,912千円
29	健康づくり支援課	保健センターの運営	予防保全型の維持管理を行うため、28年度は、築30年以上が経過した保健センターの外壁診断調査を行う。	・保健センターの外壁診断調査	1,491千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,342千円	A	同左	1,342千円
30	健康づくり支援課	ホールボディカウンタ測定及び甲状腺超音波検査費用の助成	原発事故の影響による内部被ばくの状態を把握するため、医療機関等においてホールボディカウンタ測定を受けた方に対し、その費用の一部を助成する。また、放射性ヨウ素の初期被ばくに対する市民の不安を軽減するため、甲状腺超音波検査費用の一部を助成する。	・ホールボディカウンタ測定費用の助成 ・甲状腺検査費用の助成	291千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	291千円	A	同左	291千円
31	健康づくり支援課	不妊治療費の助成	特定不妊治療への助成に加え、男性不妊検査を受けた方に対し、1回の治療につき10,000円を上限に助成する。	・男性の不妊検査費用への一部助成 ・決定通知の送付 ・消耗品の購入	506千円	B	事業の必要性は高いが、緊急性が低いため、次期実施計画で検討	B	同左	0千円	B	同左	0千円
32	健康づくり支援課	小児のインフルエンザワクチン予防接種費用助成の拡大	インフルエンザの発症と感染者の拡大を予防するため、生後6か月から小学6年生を対象に、インフルエンザワクチンの接種費用の一部を助成する。28年度から、対象を中学生まで拡大して実施する。	・インフルエンザワクチン接種への助成(拡大分) ・決定通知の送付	3,850千円	B	事業の必要性は高いが、小学6年生までの接種効果を検証しながら、次期実施計画で検討	B	同左	0千円	B	同左	0千円
33	障害福祉支援課	障害者支援施設等の整備・充実	グループホームの整備に対して補助金を交付する。また、財政負担を軽減するため、地域活動支援センターの法定移行を進めるにあたり、法定事業所としての要件を満たすために必要な施設整備に対して補助金を交付する。	・グループホーム等整備事業への補助(1箇所) ・地域活動支援センター法定移行整備への補助(1箇所)	33,390千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	33,390千円	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	33,390千円
34	あらき園	あらき園の維持管理	利用者の障害の重度化・高齢化が進んでいることから、施設の拡張工事を実施し、現状よりも広い訓練スペースや排泄介助ができるトイレを整備する。また、旧こども発達センターや障害者福祉センターのスペースを活用するにあたり、必要な改修を行うとともに、備品等を購入する。	・施設改修工事 ・備品購入	13,114千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	12,834千円	A	同左	12,290千円
35	あらき園	利用者送迎の充実	車イスでの送迎を希望する重度の利用者が増加しているため、新たにリフト付きワゴン車を購入し、運行する。	・リフト付きワゴン車の購入 ・運行管理業務委託	7,354千円	A	事業の必要性は高い	AB	事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	6,196千円
36	障害者福祉センター	障害者福祉センターの維持管理	訓練室との急激な温度変化によるヒートショックの発生を防ぐため、28年度から29年度にかけて廊下にエアコンを新設する。28年度は、工事に係る実施設計を行う。また、給食堂のトイレの不具合を解消するため、和式トイレを洋式トイレに改修する。	・空調設備設置工事実施設計 ・給食堂トイレの改修	1,973千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	1,795千円	A	同左	1,755千円
37	高齢者支援課	老人福祉センターの運営	老人福祉センターつづし荘と西部福祉センターの維持管理を行う。28年度は、西部福祉センターの浴室換気扇と照明機器の一部改修を行う。	・西部福祉センター浴室換気扇交換工事、設計、監理 ・西部福祉センター照明器具更新	10,855千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	4,323千円	A	同左	4,310千円
38	高齢者支援課	社会福祉施設の整備	広域型特別養護老人ホームの整備を行う事業者に対し補助金を交付し、施設整備を促進する。また、千葉県介護施設等整備事業交付金を活用し、定期巡回・随時対応型訪問介護事業を行う事業者に対し補助を行う。	・広域型特別養護老人ホーム整備への補助 ・定期巡回・随時対応型訪問介護事業への補助	123,970千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	123,970千円	A	同左	123,970千円
39	高齢者支援課	地域密着型サービス事業者の指定・指導・監督事務【介護保険特別会計】	在宅生活を望む要介護高齢者が質の高いサービスを受けられるよう、事業者に対し適切な指導と監督を行う。28年度は、県との連携が可能な事業所管理システムを導入する。	・介護保険指定機関等管理システムの導入	1,242千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,242千円	A	同左	1,242千円

編制 番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業 費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費 (第3回)
40	高齢者支援課	地域介護予防活動の支援 【介護保険特別会計】	介護予防・社会参加・地域見守りの促進と事業費の削減を図るため、きらめきサービスにおいて、介護予防活動を実施するとともに、その内容を強化し、介護保険における地域支援事業として展開していく。	・介護予防強化型きらめきサービスの運営委託 ・シニアリーダーク育成講師報償費、消耗品の購入	774千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	774千円	A 同左	774千円
41	高齢者支援課	認知症地域支援の推進 【介護保険特別会計】	認知症高齢者の外出の支援や交流の促進を図るため、地域住民が気軽に集える認知症カフェを開設する。	・認知症カフェの開設・運営委託	408千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	408千円	A 同左	408千円
42	高齢者支援課	生活支援体制整備事業の推進 【介護保険特別会計】	高齢者に生活支援サービスを提供するため、地域に不足するサービスの創出や担い手の育成、関係者間の連携を図るネットワークの構築などを行う生活支援コーディネーター(地域支えあい推進員)を配置する。また、サービスの提供に参画する主体の連携を図るため、協議体を設置する。	・生活支援体制整備事業委託(生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置・運営)	348千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	349千円	A 同左	349千円
43	国保年金課	国保保健事業(データヘルス計画) 【国民健康保険事業特別会計】	医療情報等を活用しながら、PDCAサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業を実施するため、データヘルス計画に基づき、糖尿病重症化予防保健指導を実施する。また、治療中断者に対し、医療機関受診勧奨通知を発送する。	・糖尿病重症化予防保健指導の実施 ・治療中断者に対する医療機関受診勧奨通知の発送	9,850千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 国民健康保険事業特別会計で実施	9,000千円	A 同左	9,000千円
44	国保年金課	国民健康保険の広域化 【国民健康保険事業特別会計】	国民健康保険の安定的な財政運営や効率的な事業実施を図るため、財政運営の都道府県への移管など、業務の広域化に向けた取り組みを進める。	・国民健康保険広域化に伴うシステム改修	額未定	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 詳細が判明し次第補正で対応	額未定	A 同左	額未定
45	子ども支援課	子どもの居場所づくり	子どもたちが地域の方々と交流しながら安全に過ごせるよう、「子どもの居場所」を順次整備するとともに、必要な維持管理を行う。	・湖北小(11校目)あびっ子クラブの運営 ・新木小(12校目)あびっ子クラブの整備、運営 ・施設維持補修(布佐南小・高野山小 ・照明飛散防止器具取付、布佐南小女子トイレ便器改修、三小・並木小出入口雨避け設置、高野山小手すり取付、並木小出入口センサーライト設置、湖北台東小網戸設置、一小エアコン交換)	102,877千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 維持補修については、布佐南小飛散防止器具取付工事、高野山小手すり取付工事、並木小出入口センサーライト設置工事のみ採択	100,839千円	A 同左	99,797千円
46	子ども支援課	学童保育室の運営	市内13小学校区内に学童保育室を設置し、保育を行うとともに、安全対策として窓ガラスへの飛散防止フィルムの取付など環境整備を行う。	・清掃業務の委託 ・飛散防止フィルムの取付 ・パソコン、AEDの配置 ・学童保育施設維持補修工事(並木小・湖北台西小出入口雨よけ設置、三小排煙窓フラインド設置、三小エアコン交換、根戸第一エアコン交換、四小・湖北小壁掛扇風機設置、一小保育室前通路舗装、湖北台西小・湖北台東小照明飛散防止器具取付、地デジ対応工事)	17,423千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 維持補修については、三小エアコン交換工事、一小保育室前通路舗装工事のみ採択 清掃業務委託は不採択	3,087千円	A 同左	3,748千円
47	子ども支援課	学童保育室の整備	保育環境の充実を図るため、計画的に施設を整備していく。28年度は、待機児童対策として、一小学童保育室の増設を行う。	・一小学童保育室の増設	17,474千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	15,474千円	A 同左	15,159千円
48	子ども支援課	少子化対策の検討 (少子化対策検討プロジェクト)	少子化対策プロジェクトチームの提案を踏まえ、婚活・婚活についての講演会を実施する。	・講師への報償	100千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	100千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	100千円
49	子ども支援課	社会福祉協議会の結婚相談業務の事業拡大・充実(少子化対策検討プロジェクト)	少子化対策への対応や若い世代の定住人口を増やすため、我孫子市社会福祉協議会で実施している結婚相談事業を支援し、婚活イベントや相談の拡充を図る。	・結婚相談事業への補助(臨時職員・相談員人件費) ・タブレット端末通信料 ・消耗品購入	2,457千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,457千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	2,457千円
50	保育課	市立保育園の管理・運営	市立保育園の管理運営や支給認定、入園にかかる利用調整を行う。28年度は、保育園との連絡調整に利用するため、新たに車両を購入する。また、現在利用している給食管理にかかるシステムのサポートが終了するため、新たなシステムを導入する。	・車両購入(5台) ・車両運賃にかかる経費 ・駐車場の賃借 ・新たな給食管理システムの導入・運用	9,567千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 車両購入は4台とし、1台は既存の車両を使用	6,841千円	A 同左	6,841千円
51	保育課	私立保育園・管外保育園への保育実施委託	市内の私立保育園と市外の保育園に対し、保育の実施に係る費用について、国が定める保育単価に基づき委託料を支払う。28年度に開設する予定の保育園1園と小規模保育事業所2園に対して、新たに保育を委託する。	・保育委託(保育園1園、小規模保育事業所2箇所へ)	165,854千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	165,854千円	A 同左	165,854千円

編 号	課 名	事 業 名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新編分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月24日現在)とその理由		事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由		事業費(第3回)
52	保育課	私立保育園運営費補助金の交付	27年度に開設する予定の保育園1園と小規模保育事業所2箇所に対して運営費を補助する。また、保育士の確保を支援するため、保育士の宿舍借り上げを行う事業者に対して補助金を交付する。	・運営費の補助(保育園1園、小規模保育事業所2箇所) ・保育士の宿舍借り上げへの補助	59,257千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	55,321千円	A	同左	55,321千円
53	保育課	保育園・幼稚園の放射能対策	保育園・幼稚園で、放射線量低減策を実施する基準(地上5cmでの空間放射線量が毎時0.23マイクロシーベルト)を超える場合に、園庭表土の削り取りなどの放射線低減化対策を実施する。また、保育園の給食の食材検査を実施する。	・保育園給食の食材検査の実施 ・放射線量低減化対策工事	1,194千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	1,194千円	A	同左	1,194千円
54	保育課	私立保育園等施設整備への補助	千葉県安心こども基金を活用し、私立保育園や小規模保育事業所が行う施設整備に対して補助金を交付する。また、アンジェリカ保育園が行う施設改修に対し、補助金を交付する。	・施設整備補助(保育園2園、小規模保育事業所1箇所) ・施設改修への補助(保育園1園)	172,844千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	172,844千円	A	同左	172,844千円
55	保育課	市立保育園の民営化に向けての準備	29年度に民営化する予定の東あびこ保育園では、移管に向けた引継ぎ保育を行う。また、30年度の根戸保育園の民営化に向けて、移管事業者選考委員会を開催するとともに、先進地の視察を行う。	・東あびこ保育園引継ぎ保育の実施 ・根戸保育園移管事業者選考委員会の開催 ・先進地視察	9,500千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	9,500千円	A	同左	9,500千円
56	保育課	市立保育園園舎内部の改修	老朽化が著しい保育園の床や厚、幼児用ロッカーなどの改修工事を行う。	・保育園内部改修工事 ・工事監理	11,985千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 社会福祉事業基金を活用して実施	11,985千円	A	同左	11,365千円
57	保育課	子育て交流フリーマーケット(定住化策検討プロジェクト)	「子育て交流フリーマーケット」や「ママのゼロ円フリーマーケット」を開催し、子育てを支援する団体や子育て世代間の交流を促すとともに、不要となった子育て用品等のリサイクルを行う。	・「子育て交流フリーマーケット」、「ママのゼロ円フリーマーケット」の開催 ・PRチラシの印刷 ・消耗品購入	270千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	270千円	A	同左	270千円
58	子ども発達センター	保育所等訪問支援	子ども発達センターが地域の中核的な療育支援施設として新たに保育所等訪問支援事業を開始することに伴い、サービス利用者の情報を管理するシステムを操作できる端末を増やす。	・システムの改修 ・システムの運用	426千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	426千円	A	同左	426千円
59	子ども発達センター	ライフダイアリーの開発・普及	子どもたちが、成長の段階に合わせて一貫した支援を受けることができるよう、子どもに関する情報を綴る「ライフダイアリー」を配付する。	・ライフダイアリーの作成	566千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	514千円	A	同左	514千円
60	子ども発達センター	作業療法士による相談・訓練	感覚や運動能力を高める必要がある子どもに対して、作業療法士による個別訓練や指導、相談を行う。28年度は、体幹機能を向上させるための訓練用具を購入する。	・体幹機能向上スペースブロックの購入	327千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	327千円	A	同左	294千円
61	手賀沼課	福島第一原発事故に伴う放射能問題への対応	市民の不安を解消するため、大気中の放射線量などの測定データの公表、学校や保育園、幼稚園、公園などの除染、市民相談など、総合的な放射能対策を推進する。	・放射能対策講習会講師報償費 ・普通旅費 ・消耗品費 ・公用車燃料費 ・測定器点検・校正費	711千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	711千円	A	同左	711千円
62	手賀沼課	自然エネルギーの普及拡大	公共施設10カ所において、屋根上に自然エネルギー設置が可能か調査し、市民との協働事業を進める上での基礎資料とする。	・公共施設屋根調査 ・自然エネルギーをすすめる我孫子の会年会費	978千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	880千円	A	同左	880千円
63	手賀沼課	親水広場の運営	手賀沼親水広場の施設管理運営業務を一括して委託する。また、エレベーター、プラネタリウム、複写機等の保守点検業務や水景施設の水質調査業務等については、個別に委託する。	・消耗品、印刷製本、光熱水費、複写機保守、施設修繕料、通信運搬費、水質検査手数料、機械整備委託料 ・施設管理運営業務委託料 ・エレベーター保守点検 ・プラネタリウム装置保守委託料、番組作成等委託料 ・3号囃子職員の配置(1名)	28,117千円	A	事業の必要性は高い 環境学習については市民との協働で実施を検討 3号囃子職員の配置については不採択とする	A	同左	25,071千円	A	同左	17,788千円
64	手賀沼課	親水広場施設の改修	水の館の老朽化対策工事と農業拠点施設整備事業に係る改修工事を行う。また、水環境啓発展示物の製作業務を行う。	・通信運搬費 ・施設改修実施設計、監理委託 ・水環境保全啓発展示物制作費 ・廃棄物収集運搬処分委託 ・施設改修工事 ・案内看板設置 ・警報機器設置工事 ・備品購入	448,260千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 公共施設整備基金、ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	448,260千円	A	同左	449,015千円

編 号	課 名	事 業 名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費(第3回)
65	手賀沼課	高野山新田多目的広場の整備	水の館の改修工事に合わせ、手賀沼親水広場周辺において、観光振興、農業振興等を図るとともに、交流人口の拡大を目指すため、多目的広場と駐車場を整備する。	・消耗品費 ・整備事業工事監理委託 ・工事	76,058千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	54,010千円	A 同左	34,775千円
66	クリーンセンター	ふれあい工場の運営管理	市民のリサイクル活動の場であるふれあい工場の作業環境を整えるため、折板屋根のケラバ修繕を行う。	・ふれあい工房折板屋根ケラバ修繕	551千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	551千円	A 同左	551千円
67	クリーンセンター	剪定枝木等のチップ化事業(放射能対策)	学校・公園などの公共施設や一般家庭・事業所から出される剪定枝木等をチップ化して、利活用を図っていたが、放射性物質に汚染されたことから、ストックヤードにて一時保管するとともに委託して最終処分を行う。	・剪定枝木・雑草等収集運搬及び破砕業務委託 ・枝木チップ運搬処分業務委託 ・ストックヤード監理委託 ・環境協力金 ・ストックヤード整備工事 ・搬出重機リース料 ・嘱託職員報酬	259,420千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	259,420千円	A 同左	259,420千円
68	クリーンセンター	焼却灰の処理(放射能対策)	焼却施設に保管している主灰と飛灰を中間処理し、リサイクルするとともに埋め立て処分を行う。	・消耗品(クレート剤)	21,141千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	21,141千円	A 同左	21,141千円
69	クリーンセンター	不法投棄防止対策	不法投棄防止対策として、投棄されやすい場所に監視カメラを設置する。	・不法投棄防止用監視カメラ設置(2台)	1,264千円	A 事業の必要性は高い 1台を採択とし市民安全課と調整のうえ実施	A 同左	632千円	A 同左	632千円
70	クリーンセンター	新規焼却施設の整備	我孫子市単独で新たなごみ処理施設を整備するにあたり、28年度は、PFI導入可能性調査や工事の実施設計などを行う。	・環境影響評価 ・PFI導入可能性調査 ・旧焼却灰資源化施設解体工事実施設計 ・資源化事業用倉庫解体工事 ・周辺農地のダイオキシン類調査 ・筆耕翻訳料	77,110千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	77,110千円	A 同左	77,110千円
71	クリーンセンター	施設の運転維持管理	焼却施設、粗大ごみ処理施設、終末処理施設の維持管理を行う。	・放射能対策費 運転維持管理 ・終末処理場管理棟屋上防水工事 ・1号炉、2号炉ごみ投入ホッパ水冷ジャケット取替修繕 ・1号炉火格子下コンベヤー取替修繕	96,920千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 1号炉火格子コンベヤー取替修繕は状況に応じて補正で対応	53,018千円	A 事業の必要性は高い 額を精査のうえ、補正で対応	8,900千円
72	クリーンセンター	震災廃棄物の放射線測定	焼却灰の放射線を高濃度にすると考えられる枝木や草などの放射線量を測定し、焼却量を調整することで、埋め立て等の基準値である8,000ベクレル/kgを下回る焼却灰を処理する。	・震災廃棄物放射線測定分析業務	2,385千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,385千円	A 同左	2,385千円
73	クリーンセンター	特殊用途車両の更新	クリーンセンター特殊用途車両更新計画に基づき、廃棄物の円滑な処理を確保するため、過酷な環境下で使用する特殊用途車両を更新する。	・2トン塵芥車更新 ・ホイールローダー更新	13,955千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 車両更新はリースにて対応	3,917千円	A 同左	2,640千円
74	商業観光課	観光振興計画の推進	観光振興計画に基づいた事業を推進していく。28年度は、天王台駅に観光案内板を設置する。また、あびこガイドマップを修正し増刷する。	・観光案内板設置(天王台駅) ・ガイドマップ作成(3万部)	3,268千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,268千円	A 事業の必要性は高い 観光案内板設置は29年度以降に実施	2,268千円
75	商業観光課	食品等の放射性物質検査(消費者対応)	市民が持ち込んだ食品等の放射性物質の簡易検査を行う。	・市内消費者が持ち込む食品等の検査	2,160千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,160千円	A 同左	2,160千円
76	商業観光課	マスコットキャラクターの活用	「手賀沼のうなぎさん」の着ぐるみを、もう1体追加で作成し、イベント等で活用するとともに、市の観光PRを強化していく。	・着ぐるみ作成	525千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	525千円	A 同左	525千円
77	商業観光課	空き店舗活用に対する補助	現在、市内14地区を対象として、空き店舗を利用して事業を行う者に対し補助金を交付する。28年度は、対象を拡大して実施する。	・補助金対象地区の拡大	3,300千円		A 事業の必要性は高い 我孫子駅周辺地区を除いて採択	3,000千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	2,550千円
78	農政課	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	手賀沼沿い農地活用計画に位置付けられた地区の農地活用を支援するため、農地条件の改良を行う。	・用排水施設等調査、設計、監理 ・高野山新田地区利用構想策定支援 ・用排水施設等整備工事	102,921千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	102,921千円	A 同左	93,191千円
79	農政課	農業拠点施設の整備	水の館に、農産物直売所を併設した農業拠点施設を整備する。	・農業拠点施設工事 ・農産物直売所備品購入 ・農業拠点施設施工監理委託 ・厨房機器移設業務委託 ・学校給食コーディネーター業務委託	237,973千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	237,973千円	A 事業の必要性は高い 公共施設整備基金、地方創生推進交付金を活用して実施	238,511千円

編 号	課 名	事 業 名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事 業費(要 求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費 (第3回)
80	農政課	有機栽培等農業者への支援事業	エコ農産物の認証手続きや農薬・肥料の適正使用を支援するため、生産履歴の管理システム(ポジティブリスト制度対応)を導入する。	・生産履歴システム委託 ・地産地消推進用備品購入(生産履歴システム端末)	4,113千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高い 水の館のオープンに合わせて実施	0千円	AB 同左	0千円
81	農政課	農地集積の推進	農地の出でて、また、その農地の受け手となる担い手農家に対し奨励金を交付し、農地の流動化の加速化や担い手農家への農地集積を促進する。	・担い手農家等農地集積促進奨励金	4,894千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	4,894千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	4,894千円
82	農政課	農業にかかる放射能対策	原発事故による放射能の影響を確認するため、我孫子市産農産物の放射性物質検査を行い、食の安全性の確保に努める。	・消耗品費 ・分析器保守点検	220千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	220千円	A 同左	220千円
83	企業立地推進課	就労に向けた支援	就業機会の充実を図るため、雇用関連情報の収集発信に努めるとともに、若者自立支援事業や個別就労支援事業を行う。	・若者自立支援事業委託(個別面談・訪問支援) ・個別就労支援委託(企業開拓員の配置(2名))	5,873千円	A 事業の必要性は高い 企業開拓員の配置については次期実施計画で検討	A 同左	658千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	658千円
84	企業立地推進課	起業・創業の支援	創業支援事業計画に基づき、起業・創業者向けのシンポジウムや創業塾などの支援策を実施する。	・関係機関協議 ・シンポジウム協議 ・講師報償費 ・消耗品費、印刷製本費、広告費 ・創業支援補助 ・創業塾運営負担金	3,739千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,739千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	3,739千円
85	道路課	布施地区の排水施設整備	布施根耕地地区の民地内への生活排水の流入を排除するため、雨水管を布設する。	・雨水管布設工事	5,832千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
86	道路課	市道24-003号線等(妻子原地先)の改良	国道6号線と天王台駅北口(柴崎地区)方面を結んでいる市道24-003号線の拡幅整備を行い、安全で円滑な通行を確保する。28年度は実施設計を行う。	・実施設計	5,000千円	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
87	道路課	道路の維持補修	安全で快適に通行できる道路機能を確保するため、舗装および路面排水施設等、道路の維持補修を行う。28年度は主な市道の空洞調査と舗装修繕工事及び維持補修工事を行う。	・市道空洞調査 ・市道舗装修繕工事 ・維持補修工事(舗装・排水)	113,000千円	A 事業の必要性は高い 市道空洞調査・舗装修繕工事のみ採択	A 同左	93,000千円	A 同左	84,000千円
88	道路課	道路の維持管理作業(土木センター)	道路用地・施設の適正な維持管理を行う。28年度は現在、クリーンセンター用地内にある土木センターの移設を行う。	・土木センター撤去、移設工事費	30,000千円	A 事業の必要性は高い 移設先については、代替地も含め検討	AB 事業の必要性は高いが、移設先については、代替地も含め検討のうえ29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
89	道路課	散策路の整備(手賀沼文化拠点)	史跡・文化財などの各ポイントをつなぐ「ハケの道」などの道路整備を行うことでイメージアップを図り、散策・回遊の利便性を向上させる。	・実施設計	2,000千円	AB 事業の必要性は高いが、手賀沼公園・久家線の進捗状況を見ながら実施時期を検討	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
90	道路課	橋梁長寿命化修繕事業	橋りょう長寿命化計画に基づき、市内にある117橋のうち、橋長15m以上のもの15橋、15m未満のもの50橋の損傷、劣化について調査点検し、計画的に修繕していく。 市内にある人道橋2橋の修繕も計画的に行う。 橋梁の近接目視による定期点検が義務付けにより、5年に1度の定期点検を行う。	・橋りょう定期点検 ・橋りょう補修設計(白山跨線人道橋) ・橋りょう点検調査負担(船戸跨線橋ほか2橋)	51,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	51,000千円	A 同左	46,000千円
91	道路課	高野山新田交差点改良	交差点の安全性を確保するために信号機の設置要望を進めながら、交差点の適正な形状について検証し、改良していく。28年度は引き続き関係機関等との協議を行う。	・地権者交渉 ・県警協議資料作成	1,000千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
92	道路課	駅前広場の再整備	JR各駅前広場に身障者や高齢者用の乗降場を設ける。28年度は我孫子駅北口通路からタクシー乗り場までの屋根の設置工事及び天王台駅北口に身障者用バリアフリー工事を行う。	・我孫子駅北口ロシエルター設置工事 ・天王台駅北口バリアフリー工事	17,804千円	A 事業の必要性は高い 天王台駅北口バリアフリー工事のみ採択	A 同左	6,221千円	A 同左	6,221千円
93	道路課	道路の放射能対策	市内の放射線測定結果に基づき線量の高い地域で小中学校・保育園・幼稚園周辺及び通学路を優先に側溝土砂の撤去・清掃等の道路の放射線量の低減化対策を実施する。	・放射能低減対策 ・残土処理	5,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	5,000千円	A 同左	5,000千円

編 号	課 名	事 業 名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要 求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費 (第3回)
94	道路課	中峠・古戸の道路整備	中峠・古戸地区の防災面の強化・快適な環境を確保するための道路整備を行う。	・道路・交差点・構造物予備設計 ・地質調査 ・用地・路線測量 ・軟弱地盤解析	57,000千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 計画的に進めるため、橋りょう分のみ採択	12,000千円	A 同左	12,000千円
95	道路課	土谷津地区の道路整備	土谷津地区の安全な通行を確保し、円滑な通行を図るための道路整備を行う。	・概略設計 ・地元との協議	2,000千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 地元との協議を優先して実施	0千円	A 同左	0千円
96	交通課	手賀沼公園・久寺家線の整備	我孫子都市計画道路事業は、我孫子地区内を円滑に移動できる道路網を整備するため、国道6号から根戸新田・布佐下線間の都市計画道路「手賀沼公園・久寺家線」全長1,270mのうち未整備区間の延長520mの新設をする。28年度は用地買収と整備工事を行う。	・不動産鑑定・登記等 ・物件調査委託 ・用地取得 ・物件移転補償 ・道路改良工事	290,825千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	290,825千円	A 同左	290,825千円
97	交通課	下新木踏切道の改良	下新木踏切及び踏切に接続する両側市道の円滑で安全な通行を確保するため、地権者交渉を行って順次市道の拡幅用地を取得するとともに、延長200mの歩道整備を行い、円滑で安全な通行を確保する。	・地権者交渉 ・交付金要望 ・JR整備協定書締結 ・不動産鑑定・登記等 ・用地取得(債務負担) ・物件移転補償(債務負担) ・物件調査委託 ・詳細設計及びCBR試験 ・買収用地維持管理工事	13,605千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	13,605千円	A 同左	13,605千円
98	交通課	駅施設維持管理事業	平成11年度に策定した、「人にやさしい整備計画」に基づき整備された、エレベーター・エスカレーターや自由通路・トイレ等を適正に維持管理を行う。また、市民の利便を図るため、老朽化のみられる個所の修繕を行う。	・新木駅自由通路及び南北口EV・ESC電気代 ・防犯カメラ使用料(新木駅)	4,550千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	4,550千円	A 同左	4,550千円
99	交通課	自転車駐車場の管理運営	自転車駐車場の適正な管理運営を行う。28年度は我孫子本町3丁目自転車駐車場の雨漏り修繕工事等を行う。	・雨漏り修繕(本町3丁目) ・自転車駐車場改良工事(サイクルパーク天王台南・我孫子南)	44,229千円	A 事業の必要性は高い	A 同左 サイクルパーク天王台南のみ採択 雨漏り修繕と我孫子南については、利用状況を踏まえて実施を検討	7,412千円	A 同左	7,042千円
100	交通課	各駅エレベーター・エスカレーター等の整備	・平成11年度に策定した、人にやさしい整備計画に基づき、東我孫子駅を除く5駅エレベーター及びエスカレーター等を設置する。28年度は新木駅自由通路及び南北口エレベーター・エスカレーターを設置する。	・新木駅自由通路及び南北口エレベーター・エスカレーター、駅舎、ラッチ内エレベーター設置工事費負担 ・給水負担金・手数料 ・用地取得費 ・土地鑑定 ・測量・登記 ・自転車駐車場用地賃借 ・新木駅バリアフリー工事用地賃借 ・仮設自転車駐車場復旧工事等 ・音声誘導装置設置 ・エレベーター・エスカレーター保守点検	1,178,666千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 成田線輸送力強化等整備基金を活用	1,177,421千円	A 同左	1,177,271千円
101	交通課	地域公共交通総合連携計画の推進	我孫子地域公共交通総合連携計画に基づき、基幹公共交通(鉄道・路線バス)ネットワークを軸としたあびバス等の運行方法を検討する。28年度は引き続き根戸ルートの実証運行を行う。また、成田線沿線地区の移動における利便性向上を図るため、シャトルバス等の新たな公共交通の運行を検討する。	・実証運行(根戸ルート) ・あびバス等運行調査 ・シャトルバス運行開始に向けた協議	11,950千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	11,650千円	A 同左	11,650千円
102	交通課	下ヶ戸・中里線外1線の整備	千葉県が進めている国道356号我孫子バイパス(都市計画道路3・5・15号根戸新田・布佐下線)の整備進捗に合わせて、都市計画道路3・4・9号下ヶ戸・中里線の全長3,140mの内、未整備区間の延長110m(幅員16m)及び3・4・10号青山・日秀線間全長5,260mの内、未整備区間の延長575m(幅員16m)を整備する。28年度は、交差点変更予備設計を行う。	・千葉県との協議・調整 ・交差点変更予備設計	2,170千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
103	交通課	放置自転車の撤去・保管・返還・処分の実施	放置自転車区域に指定している我孫子駅・天王台駅・湖北駅・新木駅・布佐駅周辺の都市景観の確保及び駅周辺の交通流動の機能を向上させる。28年度は、市職員が実施してきた放置自転車保管所管理運営業務を民間に委託して実施する。	・放置自転車保管所管理運営業務委託	17,361千円		A 事業の必要性は高い	16,800千円	A 同左	16,800千円

編 号	課 名	事 業 名	事 業 の 全 体 概 要	平 成 28 年 度 の 主 な 事 業 内 容 (新 規 分)	平 成 28 年 度 の 事 業 費 (要 求 額)	優 先 度 (第 1 回 、 12 月 10 日 現 在) と そ の 理 由	優 先 度 (第 2 回 、 12 月 24 日 現 在) と そ の 理 由	事 業 費 (第 2 回)	優 先 度 (第 3 回 、 1 月 8 日 現 在) と そ の 理 由	事 業 費 (第 3 回)
104	下水道課	中峠台の整備【公共下水道事業特別会計】	中峠台地区の公共下水道管布設工事を行う。 また、これを行うため支障物件の切廻工事を行う。	・下水道管布設工事 ・舗装復旧工事 ・附帯工事 ・家屋事後調査・補償費積算 ・家屋補償 ・ガス管切廻補償	53,300千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	52,800千円	A 同左	52,800千円
105	下水道課	総合地震対策事業【公共下水道事業特別会計】	我孫子市下水道総合地震対策整備計画に基づき、マンホール浮上防止対策及び避難所にマンホールトイレの設置を行う。	・耐震工事(マンホール浮上防止) ・マンホールトイレ設置工事 ・可とう継手設置工事(57路線-1) ・修正設計(マンホール浮上防止) ・資材価格等調査 ・電柱移設補償(青山台)	62,900千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	59,900千円	A 同左	59,900千円
106	下水道課	湖北駅北口西側地区の整備【公共下水道事業特別会計】	湖北駅北口西側地区の公共下水道整備工事を行う。	・下水道管布設工事 ・附帯工事 ・水道移設実施設計	31,800千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	31,300千円	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円
107	下水道課	中峠の整備【公共下水道事業特別会計】	中峠地区の公共下水道管布設工事に伴う舗装復旧を行う。	・舗装復旧工事(補助及び起債事業分) ・附帯工事	13,900千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	13,900千円	A 同左	13,900千円
108	下水道課	布佐駅南側地区の都市基盤整備(下水道)【公共下水道事業特別会計】	布佐駅南側地区の公共下水道管布設工事とそれに伴う舗装復旧工事等を行う。	・下水道管布設工事 ・舗装復旧工事 ・附帯工事 ・家屋事後調査・補償費積算 ・家屋補償	113,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	113,000千円	A 同左	113,000千円
109	下水道課	下ヶ戸西側地区の整備【公共下水道事業特別会計】	下ヶ戸西側地区(区画整理地区)の下水道整備に伴う実施設計を進める。	・実施設計 ・水道移設実施設計	21,300千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
110	下水道課	青山地区の流域下水道への接続事業【公共下水道事業特別会計】	青山汚水中継ポンプ場について、手賀沼北部第2幹線への切替工事を行う。	・青山汚水中継ポンプ場切替工事 ・附帯工事 ・特別調査 ・水道管切廻工事 ・ガス管切廻補償	122,600千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	119,600千円	A 同左	119,600千円
111	下水道課	布佐駅東側地区の整備【公共下水道事業特別会計】	布佐駅東側地区の公共下水道管布設工事を行う。	・下水道管布設工事 ・水道管切廻工事 ・ガス管切廻補償 ・電柱移設	15,300千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
112	下水道課	つくし野4丁目地区の整備【公共下水道事業特別会計】	つくし野4丁目集合住宅の浄化槽が老朽化したことに伴い下水道を整備を行う。28年度は実施設計を行う。	・実施設計	5,000千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
113	下水道課	湖北駅北口東側地区の整備【公共下水道事業特別会計】	湖北駅北口東側地区の公共下水道管布設工事を行う。28年度は実施設計を行う。	・実施設計	25,200千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
114	下水道課	高野山地区の整備【公共下水道事業特別会計】	高野山地区の下水道整備を行う。28年度は修正設計を行う。	・修正設計	1,000千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
115	下水道課	下ヶ戸北側地区の整備【公共下水道事業特別会計】	下ヶ戸北側地区の下水道整備を行う。28年度は基本設計を行う。	・基本設計	15,000千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
116	下水道課	地方公営企業法適用化事業【公共下水道事業特別会計】	地方公営企業法適用化基本計画を策定し、その後、基本計画に基づき地方公営企業法適用化移行業務を行う。	・地方公営企業法適用化基本計画策定業務 ・研修旅費 ・研修負担金	4,427千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	4,427千円	A 同左	4,427千円

編 番	課名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費(第3回)
117	下水道課	下水道ストックマネジメント事業【公共下水道事業特別会計】	ストックマネジメントに基づく予防保全型の施設管理を実現するため、明確かつ具体的な施設管理の目標を設定し、リスク検討に基づく点検・調査計画及び改築・修繕計画を策定する。また、これらの計画を実行し、評価、見直しを行うとともに施設情報を蓄積し、ストックマネジメントの精度向上を図る。 28年度はストックマネジメントを導入するための調査、準備を行う。	・研修旅費 ・研修負担金	131千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 研修は不採択とする	0千円	A 同左	0千円
118	下水道課	久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業【公共下水道事業特別会計】	平成25年度に手賀沼北部第2幹線に切り替え工事を行った久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞工事を行う。28年度は実施設計を行う。	・圧送管閉塞実施設計	4,600千円	A 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB 同左	0千円
119	治水課	布佐排水区の整備【公共下水道事業特別会計】	H26年度に布佐ポンプ場が完成したことから、雨水排水を布佐ポンプ場まで円滑に排水するための雨水幹線の整備に向けた実施設計を行う。	・実施設計 ・暫定ポンプ場施設撤去工事	20,600千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	20,600千円	A 同左	20,600千円
120	治水課	北新田堤外排水路の改修【公共下水道事業特別会計】	柴崎排水区の浸水被害を軽減させるため、最下流になる北新田堤外排水路改修を行う。	・水路改修工事(4/5) ・附帯工事 ・設計単価特別調査	110,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	110,000千円	A 同左	110,000千円
121	治水課	根戸排水区の整備	根戸排水区中流部に位置する雨久保地区の浸水被害を軽減させるため、抜本的な改修計画を立案、改修工事に向け検討を行うとともに、現在借地している出水被害地に洪水調整機能を有する排水施設を築造する。28年度は基礎調査及び用地買収等を行う。	・基本調査 ・国道6号排水協議(国交省) ・排水整備計画協議(柏市) ・用地測量 ・不動産鑑定 ・用地買収 ・囑託登記	160,311千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低い ため次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円
122	治水課	若松第1～第5排水区の整備【公共下水道事業特別会計】	若松地区の浸水被害を軽減させるため、5箇所 の樋管の築造に合わせ、低段地区についてはポンプ・自然排水併用として、4箇所のポンプ場を改修する。高段地区については自然排水として、手賀沼に直接排水する専用管(バイパス管)を布設する。	・バイパス管工事(1,3-1工区)(交付金) ・附帯工事 ・道路復旧工事(5工区) ・支障物移設工事(水道・汚水) ・支障物件移設補償費(ガス・東電) ・家屋事前調査 ・設計単価特別調査	311,500千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	301,300千円	A 同左	181,500千円
123	治水課	排水施設維持補修工事	排水施設の維持補修工事を行う。28年度は中幹幹線排水路の改修工事、新木排水路整備工事の買収等、つくし野川の水位監視装置設置工事及び布佐暫定ポンプ場施設撤去工事を行う。また、今後の計画的な修繕に向け、補修修繕計画書を作成する。	・中幹幹線改修工事(1工区) ・境界確定測量(中幹幹線) ・新木排水路不動産鑑定 ・用地買収、物件補償、囑託登記 ・水位監視装置設置工事(つくし野川) ・補修修繕計画書作成 ・布佐暫定ポンプ場施設撤去工事	158,345千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	137,027千円	A 事業の必要性は高い 中幹幹線改修工事については29年度以降に2ヶ年で実施	13,527千円
124	治水課	関東排水区の整備(我孫子駅北口浸水対策事業)【公共下水道事業特別会計】	我孫子4丁目地区の浸水被害を軽減させるため、下水道浸水被害総合計画に基づき調整池築造等を行い治水安全度の向上を図る。	・調整池場内及び道路整備工事 ・道路・場内整備実施設計 ・支障物復旧工事(汚水・水道) ・給水手数料 ・給水申込納付金 ・井戸事後調査 ・井戸補償費算定 ・井戸補償費	41,048千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 調整池場内については29年度以降に実施	31,048千円	A 同左	31,048千円
125	治水課	久寺家第1排水区の整備【公共下水道事業特別会計】	久寺家第1排水区の浸水被害を軽減させるため、雨水排水施設の整備を行い、常襲的な浸水被害発生を軽減させる。	・家屋事後調査 ・家屋補償費算定 ・家屋補償費 ・支障物復旧工事(汚水・水道) ・側溝布設替工事 ・道路復旧工事 ・支障物移設補償費(ガス)	48,400千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	31,800千円	A 同左	31,800千円
126	治水課	天王台6丁目地区の浸水対策(天王台地区)	天王台6丁目地区の浸水被害を軽減させるため、雨水排水施設の整備を行い、水害の軽減を図る。28年度は公園内に暫定的に設置する浸透貯留施設の築造工事などを行う。	・公園内暫定浸透貯留施設築造工事 ・附帯工事 ・支障物移設工事(水道・汚水) ・支障物件移設補償費(ガス)	81,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	81,000千円	A 事業の必要性は高い 公園内暫定浸水貯留施設築造工事は、継続費を設定し2ヶ年で実施付帯工事、支障物移設工事、支障物件移設補償費は29年度に実施	30,800千円
127	治水課	後田樋管整備事業(柴崎排水区)【公共下水道事業特別会計】	柴崎排水区の浸水被害を軽減させるため、最下流になる北新田堤外排水路改修とあわせて後田樋管を平成30年度までに築造する。28年度は国交省が行う樋管工事の負担金を支出する。(1年目／3か年)	・樋管工事負担(国交省:1年目／3か年)	104,400千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	104,400千円	A 同左	104,400千円

事業番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由		優先度(第2回、12月24日現在)とその理由		事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由		事業費(第3回)
128	治水課	柴崎幹線整備事業(柴崎排水区)【公共下水道事業特別会計】	柴崎排水区の浸水被害を軽減させるため、雨水幹線の排水能力向上を目的として、既存の雨水管を改修する。	・実施設計(2工区) ・J/R近接施行概略検討及び地質調査 ・鉄道敷地内測量調査負担金	31,000千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	31,000千円	A	同左	31,000千円
129	治水課	子の神排水区の整備【公共下水道事業特別会計】	子の神の浸水被害を軽減させるため、雨水排水施設の整備を行い、水害の軽減を図る。28年度は基本設計を行う。	・基本設計	10,000千円	B	事業の必要性は高いが、優先順位を考慮し、次期実施計画で検討	B	同左	0千円	B	同左	0千円
130	治水課	雨水排水施設台帳の整備	下水道事業公営企業会計への移行に伴い、下水道台帳管理システム・固定資産台帳システムが導入されることから、雨水排水施設についても市内の既存施設の調査を行い、雨水排水施設台帳システムを構築することにより計画的な改築・更新・維持管理を行う。	・雨水台帳基本設計 ・雨水排水施設調査(我孫子地区)	18,800千円	A	事業の必要性は高い 下水道課が実施する固定資産台帳システム整備の中で検討	A	事業の必要性は高い	18,000千円	A	同左	18,000千円
131	都市計画課	都市計画図等の作成・管理事務	常に最新の都市計画情報を市民・事業者へ提供するため、都市計画基本図と都市計画運用図を更新する。	・都市計画基本図更新業務委託 ・都市計画運用図作成業務委託	18,014千円	A	事業の必要性は高い	AB	事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	0千円	AB	同左	0千円
132	都市計画課	景観ポイント整備・誘導	ハケの道の魅力化を図るため、市民団体と協働し、植栽プロジェクトとして苗木を植栽する。	・植栽プロジェクト用苗木	127千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	127千円	A	同左	127千円
133	都市計画課	景観形成情報発信・啓発事業	多くの市民に我孫子の魅力ある景観に関心を持ってもらい、良好な景観づくりにつなげるため、「我孫子のいろいろ八景」を巡る散策会を実施する。	・我孫子のいろいろ八景歩き業務委託	562千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	534千円	A	同左	534千円
134	建築住宅課	市営住宅維持管理点検業務	提案型公共サービス民営化制度での提案や事業仕分けの要改善という結果を踏まえ、入退去手続きや家賃滞納者への督促、草刈・樹木管理などの業務を委託して実施する。	・市営住宅維持管理業務委託料	9,941千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	9,941千円	A	同左	9,941千円
135	建築住宅課	市営住宅の維持補修	市営住宅の良質化や安全性の向上を図るため、老朽施設の改修、バリアフリー化などを計画的に実施する。	・根小屋団地3・4号棟集会所改修工事、監理 ・小暮団地1・2・3号棟改修工事設計 ・市営住宅遊具撤去工事	80,323千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	80,323千円	A	同左	80,323千円
136	建築住宅課	災害支援補助事業	東日本大震災により被害を受けた建築物等の再建支援を行う。液状化被害を受けた敷地に再建する建築主が、液状化対策を講じた場合に補助金を交付する。	・液状化対策補助金	15,000千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施	15,000千円	A	同左	15,000千円
137	公園緑地課	手賀沼遊歩道の再整備	手賀沼に多くの人が訪れてもらうため、周辺の歩道や公共サインを整備していく。28年度は、舗装の修繕工事と石碑設置工事を行う。	・舗装修繕工事 ・石碑設置工事	2,679千円	A	事業の必要性は高い 舗装修繕工事のみ採択とする	A	同左	2,139千円	A	同左	2,139千円
138	公園緑地課	公園のバリアフリー化推進	公園の出入口や園路等のバリアフリー化の修繕工事を行い、快適な大規模公園となるよう、適正な維持管理を行う。28年度は、市の主要公園を計画的に維持管理するため、公園施設の長寿命化計画を策定する。	・主要公園施設長寿命化計画策定	17,237千円	A	事業の必要性は高い	A	同左	17,237千円	A	同左	15,513千円
139	公園緑地課	気象台記念公園の整備	多くの人が多目的に使える開放的な緑地空間の維持管理に努める。28年度は、定住化策検討プロジェクトから提案のあった大型遊具の設置と樹林地の樹木剪定を行う。	・樹林地の樹木管理(剪定) ・大型遊具設置	12,472千円	A	事業の必要性は高い 樹木管理(剪定)のみ採択とする	A	同左	2,000千円	A	同左	2,000千円
140	公園緑地課	公園管理(遊具・施設)	公園・緑地の遊具・施設について、危険性の高いものから計画的に修繕・工事を行うことにより、適正な維持管理を行う。	・複合遊具設置工事(柴崎台東) ・遊具設置工事(並木1号他) ・明田緑地階段改修工事 ・園路改修工事(船戸ときわわ、我孫子新橋北) ・手賀沼公園再整備調査測量委託	16,975千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い 園路改修と測量委託、遊具2か所のみ採択 複合遊具はより効果的な設置場所を検討のうえ、29年度以降に実施	4,557千円	A	同左	4,557千円
141	公園緑地課	市民の森・施設整備	岡発戸、中里、布佐の各市民の森について、それぞれの整備計画に基づき、自然環境の保全と活用に併せて、市民が利用しやすいように整備する。	・印紙代 ・用地測量 ・用地取得費 ・車止め設置工事	4,657千円	A	事業の必要性は高い 緑の基金で対応	A	事業の必要性は高い 用地取得費と車止めは緑の基金で対応	4,657千円	A	同左	4,657千円
142	公園緑地課	公園の放射能対策	公園の空間放射線量を測定し、毎時0.23マイクロシーベルトを超える箇所について、除染を実施する。	・放射線量測定業務委託 ・除染工事	1,830千円	A	事業の必要性は高い	A	事業の必要性は高い	1,830千円	A	同左	1,830千円

編目番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費(第3回)
143	公園緑地課	さくらプロジェクト	手賀沼を活かした我孫子の魅力をより一層高め、多くの人に長い期間にわたって桜を楽しんでいただけるよう、開花時期の異なる品種を適切な場所に植樹する。また、手賀沼親水広場近くの手賀沼遊歩道で、ソメイヨシノが開花する時期にライトアップを行い、交流入口の拡大につなげる。	・植栽・移植工事 ・照明装置設置・撤去工事	3,508千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,508千円	A 事業の必要性は高い 地方創生推進交付金を活用して実施	3,508千円
144	地域整備課	布佐駅南側の都市基盤整備	布佐駅南側地区計画に基づき、布佐駅南側地区12.7haで、公園や道路等の都市基盤整備を行う。28年度は、東公園の整備や地区内道路の整備を行う。	・道路整備費 ・東公園整備工事費 ・施設付帯工事費(道路・公園) ・旅費、需用費、役務費、草刈業務委託、使用料等 ・台帳作成業務委託(東公園・道路)	182,721千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	182,721千円	A 同左	179,221千円
145	地域整備課	我孫子駅前土地区画整理事業の推進	我孫子駅南側14.5haの区域で土地区画整理事業を実施し、道路、駅前広場、公園などの公共施設や宅地を整備する。28年度は、亡失杭の復元や換地面積を確定させるための出来形確認測量などを行う。	・出来形確認測量・亡失消滅杭復元業務委託 ・換地計画作成準備等業務委託 ・旧千葉銀行前交差点道路改良修正設計	46,320千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	46,320千円	A 事業の必要性は高い 旧千葉銀行前交差点道路改良修正設計は、手賀沼公園・久世家線の進捗に合わせて対応	45,166千円
146	地域整備課	我孫子駅北口土地区画整理事業の推進	我孫子駅北側14.7haを道路・駅前広場・公園等の公共施設49,069㎡と宅地98,199㎡を整備する。28年度は、事業計画変更業務を行う。	・事業計画変更	702千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 現体制の中で対応	0千円	A 同左	0千円
147	布佐東部地区復興対策室	布佐東部地区防災施設整備事業	(仮称)復興支援センターに隣接した私有地を活用し、再液化対策のオープンスペース整備工事を行う。	・再液化対策オープンスペース整備工事 ・実施設計	3,396千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 災害対策基金を活用して実施	3,396千円	A 同左	3,396千円
148	消防総務課	消防庁舎・装備の維持管理	災害時の活動拠点としての機能を発揮できるよう、庁舎や付帯設備を維持管理・補修する。28年度は消防本部庁舎と東消防署の定期検査を実施するとともに、西消防署の訓練塔の改修工事を実施する。	・消防本部、東消防署庁舎定期検査の実施 ・西消防署訓練塔の改修	2,704千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,587千円	A 同左	2,587千円
149	消防総務課	消防車両等の維持管理	消防活動を円滑に行うため、消防車両等を整備・管理し、消防体制の万全を図る。	・指令車2台の購入(消防本部・つくし野分署)	10,787千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 消防本部指令車のみ採択	8,005千円	A 同左	8,005千円
150	消防総務課	指令センター共同運用推進計画	複雑多様化する消防需要に対応し、消防サービスの高度化を図るため、消防通信指令業務の共同運用に向けた取り組みを進めていく。	・基本設計	0千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	0千円	A 同左	0千円
151	警防課	消防水利の整備・維持管理	消防団や自主防災組織が消防水利情報を活用できるよう、市ウェブサイトに掲載する。	・消防水利情報の掲載	283千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	283千円	A 同左	283千円
152	警防課	救急・救助活動車両・資機材の整備・管理	救急・救助活動車両、資機材について、車両整備計画及び車両等の維持管理状況に基づき必要な整備、交換、修理を行う。	・高規格救急自動車の更新(1台)	41,344千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	37,224千円	A 同左	37,224千円
153	警防課	消防団員の訓練	千葉県消防協会東葛飾支部の構成9市の消防団が、火災消火を想定した基本操作の技能を競う東葛飾支部消防操法大会を我孫子市で開催する。	・操法大会会場設営の委託 ・備品購入	3,716千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,392千円	A 同左	3,392千円
154	警防課	消防団車両等の維持管理事務	火災等の災害に対応するため消防団車両の更新整備、消防団車両の維持管理を行う。28年度は小型動力ポンプ付き積載車1台を更新する。	・小型動力ポンプ付き積載車の更新(1台)	7,389千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	7,389千円	A 同左	7,389千円
155	警防課	消防団の装備の充実	消防団充実強化法における消防団の装備基準に基づき、装備の充実・強化を図る。	・消防団IP無線機の整備 ・消防本部用スタンドマイクの購入	14,254千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	9,311千円	A 同左	9,311千円
156	議会事務局	議員報酬等支給業務	議員報酬の支給に係る事務の効率化とデータ管理の適正化を図るため、新たなシステムを導入する。	・議員報酬計算と議員履歴管理に係るシステムの導入 ・保守委託	822千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 議員報酬計算に係るシステムの導入のみ採択	411千円	A 同左	411千円

編成 番号	課名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事業費(要求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費(第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費(第3回)
157	教育総務課	小中学校施設の維持管理	校舎等施設の改修工事・修繕を行い、維持管理する。28年度は、キュービクル更新工事や湖北小学校の木造校舎の解体、湖北台中学校プールの濾過装置の更新などを行う。	・湖北小木造校舎解体工事設計委託、解体工事、不要物品処理委託、駐輪場設置工事 ・プール濾過装置交換工事、工事設計委託、監理委託(湖北台中) ・プール濾過装置交換工事設計委託(根戸小) ・キュービクル更新工事(5校分) ・PCB処理業務委託(5校) ・長寿命化計画(個別施設計画)策定の検討 ・新木小砂場移設工事(あびっ子クラブ新設に伴う)	125,533千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い	110,007千円	A 同左	110,007千円
158	教育総務課	学校給食施設の改修	学校給食の安全を確保するため、今後老朽化が進んでくる給食設備を、計画的に改修する。28年度は、学校給食施設の運営・整備方針を決定するとともに、白山中学校給食室の給排気ダクト等の改修工事を行う。	・学校給食施設の運営・整備方針の決定 ・給食室給排気ダクト等改修工事、監理委託(白山中) ・給食室厨房床改修工事(白山中) ・給排気設備の調査(布佐中、我孫子中、湖北中)	15,506千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	15,506千円	A 同左	14,730千円
159	教育総務課	小中学校施設の放射能対策	小中学校施設の安全・安心の確保のため、放射線量の高い場所の除染を行う。	・放射線量低減対策の実施	3,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	3,000千円	A 同左	3,000千円
160	教育総務課	小中学校の教室環境の整備	学習環境と学習効率の向上を図るため、市内小中学校の普通教室と特別教室に、エアコンを設置する。	・小学校空調設備賃借料	125,000千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	100,000千円	A 同左	95,000千円
161	学校教育課	スクールサポート教員の配置事業	児童生徒の個性に応じたきめ細やかな指導を行うため、学校の実情を踏まえながら、補助教員であるスクールサポート教員を配置する。28年度は、特別支援学級に対応できるスクールサポート教員を、小中学校に各1名ずつ配置する。	・小学校スクールサポート教員の増員(1名) ・中学校スクールサポート教員の増員(1名)	1,366千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,366千円	A 同左	1,366千円
162	学校教育課	我孫子市学校保健会運営	学校保健に関する研究と学校保健活動の充実を図る。28年度は、新たにフッ化物洗口事業を行うため、歯科衛生士を配置する。	・臨時職員の配置(歯科衛生士) ・医薬材料費の購入 ・消耗品の購入 ・備品の購入	1,057千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い	1,057千円	A 同左	1,057千円
163	学校教育課	学校給食管理運営事業	給食食材の放射性物質検査を実施する。	・放射性物質測定分の食材購入 ・測定機器保守点検 ・外部委託検査	760千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	760千円	A 同左	760千円
164	学校教育課	学校給食施設設備整備事業	給食施設設備の整備と維持管理を行う。	・グレーチング修繕(四小、高野山小、布佐南小、三小)	2,519千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	2,267千円	A 同左	2,267千円
165	学校教育課	小中学校管理運営事業	事務の省力化や予算の効率化を図るため、小中学校の光熱水費や消耗品など学校運営予算の一括管理・執行を行う。	・子どもの居場所光熱費(湖北小・新木小) ・小学校エアコン光熱費 ・学童保育室光熱費(一増設分)	27,674千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	27,674千円	A 同左	25,000千円
166	学校教育課	小中学校備品管理事業	小中学校の備品を適正に購入し、管理する。	・学級増に伴う備品購入(一小、四小、久寺家中) ・老朽化に伴う備品購入(根戸小、新木小、二小、四小、湖北台西小、並木小、我孫子中、湖北台中、白山中) ・一般放送設備の購入(布佐中、布佐南小) ・体育館放送設備の購入(湖北台東小) ・備品管理システムプログラム改修 ・学童保育室増設に伴う備品購入(一小)	14,164千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い	8,666千円	A 事業の必要性は高い	10,066千円
167	指導課	国際理解教育の推進(ALT)	英語に興味関心を持ち、積極的に英語を活用しようとする児童生徒を育成するため、ALT(外国語指導助手)を配置する。	・ALTの増員(1名)	4,728千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	4,728千円	A 同左	4,728千円
168	指導課	学校支援事業の充実	学習支援をはじめとして学校行事や部活動、環境整備などで地域の人材を活用し、児童生徒にきめ細やかな指導を行う。28年度は、理数教育支援員とICT教育支援員を配置する。	・理数教育支援員の配置(4名) ・ICT教育支援員の配置(5名)	8,232千円	AB 事業の必要性は高い	AB 事業の必要性は高い	0千円	AB 同左	0千円

編 号	課 名	事 業 名	事 業 の 全 体 概 要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事 業費(要 求額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費 (第3回)
169	指導課	小中学校コンピュータ教育の推進	小中学校でコンピュータ教育を推進するため、パソコン機器等、情報教育の環境の整備を図る。28年度は、2か年で進めている小学校校務用コンピュータの整備を完了させる。また、小学校校務用支援システムを導入する。	・小学校校務用コンピュータ保守(6か月) ・小学校校務用コンピュータ貸借(6か月) ・小学校校務用支援システム保守(6か月) ・小学校校務用支援システム研修委託 ・小学校校務用支援システム貸借(6か月)	12,736千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	12,736千円	A 同左	12,488千円
170	指導課	ふるさとカリキュラムの開発	我孫子の偉人や文化、歴史等に関する資料を活用したふるさとカリキュラムを推進する。28年度から、小中学校で「ふるさと我孫子の先人たち」を活用した「Abi-ふるさと」カリキュラムを順次実施していく。	・クリアフォルダの購入(小学5・6年生分)	467千円	C 事業の必要性は低い	C 同左	0千円	C 同左	0千円
171	指導課	学級経営の支援	学校生活の満足度を測るため、すべての小中学校でQ-U検査を実施する。28年度からは、小学4年生を検査対象に追加し、小学3・4・5・6年、中学1・2年生を対象に実施する。	・Q-U検査委託(4年生を追加)	693千円	C 検査委託拡大については不採択とする。検査対象については各校の実情に応じて選択することとし、現行予算の中で対応のこ。	A 事業の必要性は高い 必要な学校分のみ採択とする 経常経費の中で対応のこと	0千円	A 同左	0千円
172	指導課	小中一貫教育の推進	中1ギャップの解消や学力向上、豊かな人間性の育成などを図るため、小中学校を通じた一体的・継続的な教育を推進する。28年度から布佐中学校区で本格実施し、その成果を各中学校区に広めていく。	・スクールサポート教員の配置(1名) ・教科カリキュラム検証講師謝礼 ・公開研究会の実施 ・小中一貫パンフレット作成 ・研究紀要作成 ・バスの借上げ ・小中一貫教育全国連絡協議会負担金	6,396千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	6,396千円	A 同左	6,396千円
173	教育研究所	小中学校教師用教科書及び指導書の配布	教科書採択や学級増、少人数指導などの指導法改善に対応するため、教師用に教科書や指導書を配付する。	・中学校教師用教科書と指導書の改訂版の購入 ・デジタル教科書の購入	15,559千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	15,559千円	A 同左	15,002千円
174	教育研究所	適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営	長期欠席、不登校児童生徒の学校生活への復帰に向けた支援や指導を行うため、教育相談や支援体制の充実を図る。平成30年度から新しい建物で適応指導教室を開設できるよう、28年度は、移転予定先での新築工事設計を行う。	・新築工事設計委託	4,266千円	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
175	文化・スポーツ課	不特定遺跡発掘調査	住宅建設等に伴って現状が変更される遺跡について発掘調査を実施し、出土した遺物や記録等を整理する。28年度は、遺跡地図情報照会システムを更新する。	・遺跡地図情報照会システム更新	1,836千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,700千円	A 同左	1,700千円
176	文化・スポーツ課	市史調査研究	我孫子の歴史・文化遺産を把握、収集・記録し、後世に残していく。計画的に和紙公園の修復を行うとともに、28年度は、「井上家資料目録」を編集刊行する。	・嘱託職員の配置(井上家資料整理) ・井上家資料目録印刷	3,200千円	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	A 事業の必要性は高い 井上家資料目録印刷については、29年度に実施	2,500千円	A 同左	2,500千円
177	文化・スポーツ課	杉村楚人冠塚の保存と活用(手賀沼文化拠点)	手賀沼文化拠点整備計画に基づき、周辺文化ポイントと連携し、杉村楚人冠塚の魅力を高める。	・エアコン設置(書斎) ・外壁塗装工事	741千円	AB 事業の必要性は高いが、29年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
178	文化・スポーツ課	サイン整備(手賀沼文化拠点)	手賀沼文化拠点整備計画に基づき、文化ポイントのサイン整備を行う。28年度は、「我孫子文化人の広場」を手賀沼公園に整備する。	・サイン設計委託	497千円	AB 事業の必要性は高いが、県の補助金を活用して、29年度に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
179	文化・スポーツ課	文化財施設の管理・活用(手賀沼文化拠点含む)	手賀沼文化拠点整備計画に基づき、文化財の魅力を高め、多くの人にその価値を感じてもらおう。28年度は、旧村川別荘の消防設備を整備する。	・消防設備の整備(旧村川別荘) ・消防設備保守点検	1,481千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 文化財保存基金を活用	1,481千円	A 同左	1,481千円
180	文化・スポーツ課	旧井上家住宅の保存と活用	市の指定文化財である旧井上家住宅の保存と活用を図る。	・二番土蔵工事(1年目) ・工事監理 ・母屋耐震診断 ・工事記録報告書の作成 ・消防設備消耗品の購入 ・廃棄消火器の手数料 ・機械整備撤去工事	37,321千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 文化財保存基金を活用	37,321千円	A 事業の必要性は高い 工事記録報告書の作成は、母屋耐震診断の結果を踏まえて、29年度に実施 文化財保存基金を活用	36,187千円
181	文化・スポーツ課	体育施設管理運営事業	市民が安全で快適に運動施設を利用できるよう、スポーツ施設の適正な維持管理を行う。浅間前多目的広場の一部が借地となっていることから、その土地を購入する。	・不動産鑑定手数料	1,076千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い	1,076千円	AB 事業の必要性は高い 特定財源の活用を検討し、29年度に実施	0千円

編 号	課 名	事業名	事業の全体概要	平成28年度の主な事業内容(新規分)	平成28年度の事 業費(要約額)	優先度(第1回、12月10日現在)とその理由	優先度(第2回、12月24日現在)とその理由	事業費 (第2回)	優先度(第3回、1月8日現在)とその理由	事業費 (第3回)
182	文化・スポーツ課	体育施設維持補修(含む放射能対策)	市民が安全で快適に活動できるよう、体育施設の維持補修を適切に行う。	・湖北台中央公園野球場遮光ネット設置 ・ふれあいキャンプ場照明取替 ・放射線量の測定	1,226千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 28年度は、放射線量の測定のみ実施とし、湖北台中央公園野球場遮光ネット設置、ふれあいキャンプ場照明取替は、29年度以降に実施	0千円	A 同左	0千円
183	文化・スポーツ課	健康スポーツ普及事業	市民の健康づくりのため、スポーツイベントの開催や総合型地域スポーツクラブ活動の支援を行う。28年度は、ボールゲームフェスタを開催する。	・ボールゲームフェスタPR用チラシの作成 ・スタッフ用弁当の購入 ・参加者保険料(300人分)	241千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い	202千円	A 同左	202千円
184	文化・スポーツ課	市民体育館の管理運営	市民体育館の適切な管理運営のため、指定管理者による管理運営を継続する。トレーニングルームの利用者が増加していることから、28年度は、新たにトレーニングマシンを整備する。	・トレーニングマシン整備(リース)	1,349千円	A 事業の必要性は高い	A 同左	1,349千円	A 同左	1,349千円
185	文化・スポーツ課	市民体育館の維持補修	市民体育館を安全で快適に利用できるよう、維持補修を行う。トレーニングルームの利用者が増加していることから、28年度は、トレーニングルームを増設する。	・トレーニングルーム増設工事 ・電気工事	1,266千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い スポーツ振興基金を活用	1,266千円	A 同左	1,266千円
186	文化・スポーツ課	市民体育館の改修	市民体育館を安全に利用できるよう、老朽化した箇所を改修する。	・野球場スコアボード設置工事設計委託 ・野球場本部席設置工事設計委託 ・野球場本部席設置工事 ・工事監理 ・武道場倉庫増築工事設計委託 ・武道場倉庫増築工事 ・工事監理 ・トレーニングルーム照明取替 ・1、2階廊下照明取替 ・テニスコート照明取替 ・野球場、テニスコート受変電設備更新工事 ・構内高圧ケーブル更新工事	65,686千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い 野球場スコアボード設置工事設計委託、野球場本部席設置工事設計委託・工事・工事監理、トレーニングルーム照明取替のみ採択 武道場倉庫増築、1・2階廊下照明取替、テニスコート照明取替、野球場・テニスコート受変電設備更新、構内高圧ケーブル更新は、29年度以降に実施 スポーツ振興基金を活用	14,007千円	A 同左	14,007千円
187	鳥の博物館	常設展の充実	生涯学習や社会教育の場として多くの人に活用してもらえよう、常設展の充実を図る。28年度は、フクロウカメラ画像アーカイブシステムを購入する。	・フクロウカメラ画像アーカイブシステム購入	881千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	881千円	A 同左	881千円
188	鳥の博物館	博物館施設設備の維持管理	鳥の博物館の老朽化した施設の補修や、設備の補修・更新を行う。	・空調設備更新工事 ・工事監理 ・暖房機器賃借料 ・館内塗装(階段擁壁、1・2・3階ドア等)	93,848千円	A 事業の必要性は高い	A 事業の必要性は高い ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金を活用して実施	93,848千円	A 同左	93,848千円
189	生涯学習課	湖北地区公民館指定管理者制度の運営	指定管理者に委託して湖北地区公民館の管理・運営を行う。開館して20年以上が経過し、施設設備等の老朽化により不具合が発生しているため、計画的に施設や設備の更新や修繕を行う。	・空調設備更新工事(学習室、工芸工作室、調理室等) ・工事監理 ・ホールピアノ修繕	49,173千円	A 事業の必要性は高い ピアノ修繕は29年度以降に検討 公共施設整備基金を活用	A 同左	47,521千円	A 同左	47,521千円
190	生涯学習課	生涯学習情報提供システムの運用	市民や市民団体が、いつでも学習や活動に必要な情報を登録したり、収集したりできるよう、システムを整備する。	・生涯学習情報提供システム構築委託 ・生涯学習情報提供システム管理費	5,228千円	AB 事業の必要性は高いが、市民活動支援課と連携して、29年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円
191	図書館	移動図書館業務	図書館に来館しにくい地域の居住者向けに、図書の貸出・返却・予約のサービスを行う。28年度は、老朽化している現在の移動図書館車両を買い替える。	・移動図書館車両の更新	16,349千円	B 事業の必要性は高いが、緊急性が低いため、次期実施計画で検討	B 同左	0千円	B 同左	0千円
192	図書館	子どもの読書活動推進計画の策定	「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「子どもの読書活動推進計画」を策定する。29年度の策定に向け、28年度はアンケート調査を実施する。	・アンケート調査委託	1,977千円	AB 事業の必要性は高いが、学校と連携を図りながら、29年度以降に実施	AB 同左	0千円	AB 同左	0千円